



勝手に決めるな軍拡・増税! 武力で平和は作れない

憲法フェスティバル 2023に 1,000人余が結集!



■4年ぶりに戸外で開催された「憲法フェスティバル」

「戦争の放棄」「戦力の不保持」を誓約した日本国憲法が施行されて76年。日本国憲法の理念を実現するのが問われる厳しい状況の下、4年ぶりに戸外での「憲法フェスティバル」が開催されました。「風薫る五月」の青空のもと、約千人が集いました。

水戸市千波湖畔「ハナミズキ広場」には、ステージと24張のテントを準備。カレーやコーヒーの模擬店、新婦人県本部の沖縄物産展、「大津漁協裁判支援する会」が魚の干物を販売するなど、活気溢れました。「9条の会」交流会、水戸工業高校ジャズバンド・水戸藩YOSAKOI連、ヒューマンファーマーズ演奏を楽しみました。

■「憲法9条の心を守り抜くために、私たちができること」伊藤弁護士への記念講演



フェスティバルでは、記念講演、沖縄からのメッセージ、集会アピールを採択しました。9条に大きな力を吹き込もうというこの日、伊藤真弁護士が、「『戦争する国』づくりと憲法—私たちにできること—」と題しての記念講演。以下の話をされました。

・抑止力を高めることは、戦争の危機を高めることと同じ

自分らしい幸せを追求できるのは、平和憲法、9条があるからだ。しかし、集団的自衛権の行使容認、専守防衛を投げ捨てた安保3文書の改訂を閣議決定し、9条と乖離

した現実が日々つくられている。現実と9条がズレたら、憲法に合わせることが大事だ。

抑止力を高めることは、戦争の危機を高めてしまうことになる。中国や北朝鮮、ロシアを名指して、反撃能力を保有すると言っても、核兵器を持っている国と戦うことはできない。第二次世界大戦前のドイツのような、暴力によって支配するファシズム・軍国主義が、どんなきっかけから始まったのかを検証すると、ナショナリズム、人権の軽視、敵を設定する、軍事優先、女性蔑視、マスメディアのコントロール、政治と宗教の一体化などの特徴がある。また戦争の歴史を振り返ると、軍事同盟は“外”に敵をつくり、その均衡が崩れると戦争になる。

・どこの国とも仲良くやっていく。これが外交だ

国連憲章は、軍事同盟を捨て、“外”に敵をつくらない、みんなで話し合うという協議の場をつくる、集団安全保障という考え方をとっている。どこの国とも仲良くやっていく。これが外交だ。今、私たちは学び考えて行動する“自立した市民”になり、慌てず、焦らず、諦めず、一步一步を大切にしながら、9条に大きな力を吹き込もう。

■全国各地で「あらたな戦前にさせない」と集会やデモ

同じ日に、東京・有明防災公園で開かれた「憲法大集会」には2万5千人が参加しました。そのほか、全国各地でも「あらたな戦前にさせない」と集会やデモ等を開催し、改憲は許さないとの決意を固めました。

第8回総会を開催！未加入者も参加して意見交換

平和の会 しもつま

5月14日、母の日の日曜日、午後2時より、「ピアスパークしもつま」にて、「平和の会しもつま」の2023年度総会を開催しました。8回目です。第一部は3時まで。会員8名(14名中)プラス代表理事の木村泉さん。第二部は5時まで。ゲスト5名が参加し14名で意見交換会。会員8名プラス6名のゲストでたっぷり2時間の話し合いでした。

第三部は場所を変え、参加者9名で、食事をしながら更にヒートアップした話し合いを8時頃まで行いました。

■参加ゲストは、市民連合等で共同運動を進める仲間約6時間に及ぶ話の中身については割愛し、この紙面では「ゲスト参加」したうちの3名を紹介したいと思います。

80歳のO氏と75歳のM氏は、私(青木)も加わる市民連合で、毎月1～2度会う仲間。特にM氏は本会に好意的で、会合にはいつも来てくれます。今回O氏が参加したのはM氏に促されてのこと。この両名が三部にも参加。木村さんと

も親しく懇談。帰りの車中(我が女房の運転)でM氏は「いやあ、木村さんのお話、分かり易くて

良かったなあ」とひと言。3人目ゲストのAさんは50代に入ったばかりの女性。初めて平和委員会の集会に参加して自己紹介。「父のあとを継ぐために町議会議員選挙に立候補します」と発言。Aさんは自身が開設しているピアノ教室の先生で、その一方で下妻市内のコーラスグループを指導。M氏はその生徒の一人という縁です。

最後に。Aさんは「平和の会しもつま」に「入会する」と約束してくれました。次回会うときに入会書と会費をいただく予定です。(「平和の会しもつま」事務局長 青木 勇さん)



県平和委員会第3回理事会開催される！ 岸田首相は真の軍事大国を望んでいる

第3回理事会が、定期大会骨子、当面の課題などを確定するため、5月13日(土)、水戸共同ビルで開催されました。議長は、常陸太田平和の会の白田義昭さん。19人が出席し、延べ17人の方から発言がありました。

岸田内閣が強行している「戦争する国づくり」が県内でも明らか見えていること。それに対して草の根の反対運動も進んでいることなど報告されました。

また「戦争と平和」パネル展の取り組みや学習会開催、

ニュースの発行、映画「荒野に希望の灯をともし」の上映について、平和関連施設への平和ツアーについてなどがイキイキと報告されました。発言の詳細については、次号(6月5日号)に掲載します。

2年がかりで編集された「30周年記念誌～平和の文化を育てよう～」も初披露されました。



茨城県平和委員会 2023年度 定期大会日程

日程 / 6月10日(土) 13:30～ 場所 / 県立青少年会館

・会員数に対しての 代議員数	10人以下 10人以上～30人未満 30人以上	1人 2人 3人
-------------------	-------------------------------	----------------

・地域の平和の会に所属していない会員の方でも大会に参加できます。事務局まで連絡をお願いします。

【規約「改正」について】

旧 第12条(大会)県大会は会員の中から選ばれる大会代議員と代表理事、常任理事、事務局長で構成し、年一度開催します。

新 第12条(大会)会員の中から選ばれる大会代議員と役員で構成し、年一度開催します。また、代議員及び役員でない会員が希望する場合は、評議員として大会に参加し発言できますが議決権はありません。

○以上、下線部を追加します。これまでもオブザーバー参加を認めていましたが、正式に「評議員」として参加できるように提案しますので、ご検討ください。

【「30周年記念誌」の配布について】

定期大会において、「会員数分」+「加入対象者用」を無料で配布します。会員外で購入希望がある場合は「500円」となります。

大会前に開催する、地域での総会等で必要な場合は、事前に送付します。県平和委員会事務局までご連絡ください。【029-251-2806 篠原事務局長】

「夏の戦争と平和パネル展」準備はいかがですか？

パネルの貸し出しは？ ⇒ 先着順です

日程が決まったら、早めに申し込んでください。相談に応じます

■(新作)「国民に『決意』を迫る安保3文書～武力で平和は守れない～」

県平和委員会は、5月3日の憲法フェスティバルで、「国民に『決意』を迫る安保3文書～武力で平和は守れない～」を、6つのテーマに基づいて9枚のパネルを制作、展示しました。各地域で実施している「戦争と平和」展でも希望があればレンタルします。ぜひ申し込んでください。

■高校生の描いた「原爆」の絵

「A2の大判が1組」「A3判が4組」計5組あります。どちらも62枚セットです。多くの会場では、半数の「32枚」を活用しているようです。もちろん62枚にフルセットでも受け付けます。

■その他

- ・原子爆弾の被害(広島・長崎)
- ・東京大空襲
- ・東電福島原発事故 等

新作作成の希望がありましたら連絡下さい。作成を検討します。